

平成 29 年度 おやベルネサンス総合戦略事業の点検・評価について

(1) おやベルネサンス市民会議【外部組織】による「事業の評価（外部評価）」について

総合戦略事業については、おやベルネサンス総合戦略では、P D C Aサイクルの確立により、K P I（重要業績評価指標）を軸とした施策の点検・評価を定期的・段階的に行い、達成・進捗状況が思わしくない施策については、優先度に応じて重点的に取り組むなど、改善へと結び付けていくこととしています。

なお、効果検証の客観性を担保するため、外部組織である「おやベルネサンス市民会議」による**外部評価**を行うこととしており、今年度は、平成 30 年 10 月 11 日（木）に「おやベルネサンス市民会議」を開催し、平成 29 年度の総合戦略事業について**外部評価**を実施しました。評価の主な考え方は次のとおりであり、また、評価の基準等は別紙に示しているとおります。

(ア) 原則、H29 決算額があるものを評価した。

(イ) KPI（重要業績評価指標）の目標値（H31）に対し、5か年計画のうち3年目となるH29 実績値の達成度が 60%を下回る場合は、原則「総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない」と判定した。ただし、60%を下回っても市民会議の評価により「・・・有効であった」と判定しているものがある。

(2) おやベルネサンス推進本部【庁内組織】による「点検・評価」について

「おやベルネサンス市民会議」による**外部評価**を踏まえ、総合戦略の施策内容に掲出されている KPI に関する事業及び地方創生関係交付金充当事業について、「おやベルネサンス推進本部」による**点検・評価**（「今後の方針」の検討・協議等）を行いました。なお、各事業の**点検・評価**の結果は別添のとおります。

<点検・評価の結果>

| | |
|--------|----|
| ●報告事業数 | 75 |
| ①事業の継続 | 67 |
| ②事業の発展 | 4 |
| ③事業の改善 | 0 |
| ④事業の中止 | 0 |
| ⑤事業の終了 | 4 |

■おやベルネサンス総合戦略事業 評価基準等

| No. | 評価項目 | 評価者 | 評価区分 | 評価基準 |
|-----|--------------------|----------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 事業効果 | 【庁内組織】 おやベルネサ ンス推進本部 | ① 地方創生に非常に効果的であった | 全てのK P I が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 |
| | | | ② 地方創生に相当程度効果があつた | 一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 |
| | | | ③ 地方創生に効果があつた | K P I 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 |
| | | | ④ 地方創生に効果がなかった | K P I の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合 |
| 2 | 事業の評価 (外部評価) | 【外部組織】 おやベルネサ ンス市民会議 | ① 総合戦略のKPI達成に有効であった | 当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった (H29実績値の達成度60%を目安とした) |
| | | | ② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | 当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない |
| 3 | 今後の方針 (H31年度以降) | 【庁内組織】 おやベルネサ ンス推進本部 | ① 事業の継続 | 計画通りに事業を継続する |
| | | | ② 事業の発展 | 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる |
| | | | ③ 事業の改善 | 事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った) |
| | | | ④ 事業の中止 | 継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した) |
| | | | ⑤ 事業の終了 | 当初予定通り事業を終了する(または、した) |

H29おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|--------------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|--------------|------------|---|--|---|-------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|------------------------------|------------------|---------------------|-----------------------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 1 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ① | 継続 | 販路拡大支援事業 | 1,404 | 1,404 | 中小企業者等の販路開拓等を支援し、本市における産業の振興と発展を図るため、見本市等に出展する事業者に対し、その会場費等の一部を補助する。 | 交付実績：8社 | 助成件数 | 件/年 | 2 | 3 | 8 | 266.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 2 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ① | 新規 | 「おやべ繊維」のブランド化による地域活性化事業 | 27,000 | 25,260 | 【H29新規】 【地方創生推進交付金事業（H29～H31:H29年6月補正）】 市内企業の繊維関連企業により設立された「おやべ繊維ブランド化推進協議会」により、加盟企業が持つそれぞれの優れた経編技術や染色・プリント加工技術、そして縫製加工技術などを活かしながら、「made in Oyabe」の商品開発に取組み、「おやべ繊維」のブランド化を目指す。（平成29年度からの3か年計画） | 大学との共同研究により、ハトムギの有効成分調査を実施するなど、新たな商品開発に向けた試作品の製作を行った。また、需要に応じた製品開発を行うため、市場の需要に関する調査を行った。 | ① (RESAS) 製造品出荷額等(実数) 製造業>繊維工業 ② おやべ繊維ブランドの商品開発数(累計) ③ 国内外の展示会への出店数(累計) | ①百万円 ②件 ③件 | ①13,082 ②0 ③0 | ①13,212 ②15 ③4 | ①13,440 ②0 ③0 | ①101.7% ②0% ③0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とはいえない | 実績の内容に、試作品数の成果なども添え、進んでいることを示すべき。 | 事業の継続 |
| 3 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ② | 継続 | 中小企業金融対策事業 | 454,198 | 451,626 | 市内中小企業の円滑な資金繰りを支援し、企業経営の安定化に寄与することで、地域産業を活性化させ、雇用を創出し、定住人口の拡大を図る。 ①富山県及び小矢部市の融資制度に基づき、金融機関に融資原資の一部を預託することで、金融機関による中小企業への融資実行を促進する。 ②商工中金の一般融資原資を中小企業育成資金として預託することで、融資実行を促進する。 ③富山県中小企業融資制度のうち、「小口事業資金」「緊急経営改善資金」に係る信用保証料の一部を助成する。 ④中小企業者の保証料負担軽減のため、富山県信用保証協会に対し、保証料補助金を交付する。 | ①預託実績：440,000千円 ②預託実績：10,000千円 ③交付実績：1,228千円(32件) ④交付実績：398千円 | 小矢部市中小商工業振興融資実績 | 千円/年 | 21,000 | 26,000 | 23,300 | 89.6% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 4 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ② | 継続 | 経営改善普及事業 | 9,428 | 9,428 | 商工会が行う小規模事業者の指導及び商工業者の振興と安定を図るための事業に要する経費について補助金を交付することで、市内商工業の総合的な発展に寄与し、地域活性化、雇用の創出、定住人口の拡大を図る。 ①小矢部市商工業振興事業補助金（商工会が行う経営改善普及事業等に対する補助） ②小矢部市商工業振興協同事業助成金（商工会と企業協会の共同事業に対する助成） ③町おこし支援事業補助金（津沢地区で開催される「阿曾の市」に対する補助） | ①交付実績：9,148千円 ②交付実績：80千円 ③交付実績：200千円 | 小矢部市商工会会員数 | 件 | 954 | 980 | 910 | 92.9% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 5 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ③ | 継続 | まちなか等振興事業 | 12,508 | 12,508 | 商店街等の空き店舗又は空き地を活用し出店する者に対し、創業費の一部を支援し、街中のにぎわい創出を図るとともに、利便性に優れ、魅力ある商店街づくりを促進する。 ①店舗等の新築、増築、改築、改修又は改装に要する経費の一部助成 ②店舗等又は空き地の賃借に要する経費の一部助成 | ①交付実績：10件 ②交付実績：1件 | ①商店数 ②中心市街地通行者数 ③空き店舗を活用した創業者数 | ①店 ②人/日 ③件 | ①315(H24) ②265 ③- | ①500 ②350 ③3 | ①491(H28) ②297 ③4 | ①98.2% ②84.9% ③133.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 6 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (1) | ③ | 新規 | おやべ楽市事業 | 200 | 200 | 本市に関する大型商業施設の来場者を街中の商店街等へ取り込むため、商工会、商店街協同組合、地元商店主が中心となり、まちなかバル、軽トラ市等の集客イベントを実施する。 | ②軽トラ市を6回開催（6月～11月の第3日曜日） | ①年間商品販売額 ②中心市街地通行者数 ③商店街の歩行者数増加率 | ①億円 ②人/日 ③% | ①398 ②265 ③- | ①570 ②350 ③10 | ①649 ②297 ③12 | ①113.8% ②84.9% ③120.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|--------------|--------|--------|--------|--------|---------------------|--------------|------------|---|--|--|----------|-----------|------------|------------|-------------------|------------------|---------------------|--------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 7 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (2) | ① | 新規 | 創業支援事業(総合支援事業計画の推進) | 726 | 384 | 平成27年度中に産業競争力強化法における創業支援事業計画を策定し、商工会、地域金融機関等と連携しながら地域一体となって創業を支援することが可能な体制を構築し、推進する。他機関と連携して支援事業を実施するほか、関係機関が実施する創業支援施策についての情報提供も積極的に行い、女性や若者等、様々なニーズに対応する。地域における創業を促進することで、地域経済の活性化、雇用機会の創出、それによる定住人口の拡大を図る。 ・小矢部市：ワンストップ窓口の設置、インキュベータ施設の貸出、空き店舗等への出店補助、創業セミナーの開催等 | 使用者4名(入居期間満了により入居者1名退出、1名新規入居)入居率100% | ①創業支援相談件数(延べ) ②女性創業支援相談件数(延べ) | 件/年 | ①- ②- | ①70 ②35 | ①68 ②37 | ①97.1% ②105.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 8 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (2) | ③ | 継続 | 企業立地対策事業 | 16,148 | 16,148 | 小矢部フロンティアパークをはじめとした市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。 ①企業立地アンケート、企業訪問を実施し、本市の立地環境をPRする。 ②富山県が東京・大阪・名古屋で開催するとやま企業立地セミナー等に出展し、本市の立地環境をPRすることで、都市圏からの企業進出を推進する。 ③企業立地助成金等の支援制度により、市内産業用地等への企業立地を促進する。 ④国際規格(ISO等)の取得支援、販路拡大支援に係る補助金により、市内企業の事業展開を支援する。 ⑤富山県、(独)中小企業基盤整備機構、本市とで構成する「小矢部フロンティアパーク企業誘致推進協議会」を設置し、小矢部フロンティアパークへの企業誘致活動を推進する。 | ①調査実績：2,000社 1社訪問 ②出展回数：3回 ③交付実績：1件 7,721千円 ④交付実績：0件 0千円 ⑤誘致企業：1件(2区画) | ①小矢部フロンティアパーク分譲率(面積等) ②企業立地助成件数(累計) | ①% ②件 | ①77 ②2 | ①100 ②5 | ①95 ②5 | 95.0% 100% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 9 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 1 | (2) | ④ | 新規 | 本社機能移転による減税措置の適用 | 0 | - | 地方拠点強化税制の創設に伴い、本社機能の市内移転を促進し、安定した良質の雇用の創出を通じて、本市への新たな人の流れを生み出すため、知事の認定を受けて本社機能の市内移転・拡充を行った企業に対し、固定資産税の不均一課税を実施する。 | 本社機能を移転した企業は1社(株ゴールドウイン)あり、不均一課税の対象となった。 | 本社機能移転企業数(累計) | 件 | 二 | 1 | 1 | 100.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 10 | 産業建設部 | 農林課 | 1 | (3) | ① | 新規 | 中山間活力創生事業 | 400 | 400 | 中山間地域の自然的・経済的・社会的条件が不利な地域に対して、農業を活性化させるための取組を支援する。 補助率10/10 限度額200,000円 | 【具体的な内容】 ●南谷地区においては、放棄田を活用しカボチャ、なす等を栽培。12グループが新たに誕生し、10通りの加工品を試作・販売した。 ●宮島地区(屋波牧)において、観光名所への鳥獣の侵入を防止するための恒久柵(200m)の設置を行った。 | 中山間活力創生に係る補助金交付地区数 | 地区 | 二 | 4 | 2 | 50.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | もっとPRすることも必要ではないか。 | 事業の継続 |
| 11 | 産業建設部 | 農林課 | 1 | (3) | ① | 継続 | 有害鳥獣対策事業 | 8,327 | 7,409 | 実施隊報酬、有害鳥獣捕獲・被害防止パトロール費用、電気柵購入補助(補助率1/3、限度額100,000円)、恒久柵補助(市単1/3、県単追加1/2) | 【具体的な内容】檻の管理を捕獲隊に業務委託し、また、捕獲した幼獣1頭につき8千円を捕獲時の止め刺しや処分に係る経費として支払った。 | 有害鳥獣(イノシシ)捕獲頭数 | 頭/年 | 91 | 400 | 487 | 121.8% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|----------|---------------------------------|--------------|------------|---|--|---|-------------------------|--|---|--------------------------------|-------------------------------------|------------------|-------------------|--------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 12 | 産業建設部 | 農林課 | 1 | (3) | ① | 新規 | 小矢部型稼げる農業創造事業(地域特産品の開発・生産拡大事業等) | 45,980 | 39,138 | 【地方創生加速化交付金事業(H27繰越)】 【地方創生推進交付金事業(H28~H30)】 小矢部市農業特産物推進協議会に委託し、生産者のニーズと消費者のニーズを調査し、消費者ニーズに対応した小矢部らしい地域特産品の開発と、生産や販売促進活動を展開し、新商品開発を行う。 「小矢部ブランド」の確立・浸透とブランド力の強化を図ることで、農業収入の増大と収益性の向上による、「小矢部型稼げる農業」をめざし事業を展開する。 | 29年度は前年度の計画に基づき、各種施策を行った。特産物の開発(新商品3品)・強化、米・ハトムギの販売力強化用商材の製作、米販路拡大用備品の購入、市内全域の土壌調査の実施、出向販売を行った。また、農業者の農業散布用ドローンへの資格取得補助を行った。 | ①新商品開発数(累計) ②米の販売額(農協) ③小矢部ブランド認定件数 ④おやべの米たまご生産高 | ①件 ②百万円 ③件 ④千円 | ①- ②2,133(H27) ③12 ④18,082(H27) | ①8 ②2,150(H30) ③20(H30) ④30,082(H30) | ①5 ②2,272 ③14 ④22,530 | ①62.5% ②105.7% ③70% ④74.9% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の終了 |
| 13 | 企画政策部 | 観光振興課 | 1 | (3) | ③ | 継続 | 小矢部ブランド認定事業 | 200 | 30 | 平成22年度から、小矢部市の知名度向上を目的として、小矢部ブランド認定制度を開始。現在、14産品が小矢部ブランドに認定されており、情報発信に努めている。 | 新たなブランド認定品の発掘及び既存の認定品のブラッシュアップのため、視察研修等を行い生産者の意識高揚を図った。また、各イベントや物産展などをとおして広く情報発信に努めた。 | 小矢部ブランド認定数 | 件 | 12 | 20 | 14 | 70.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 14 | 産業建設部 | 稲葉山牧野 | 1 | (3) | ③ | 継続 | 牧野放牧管理事業 | 81,708 | 81,708 | 県西部の基幹牧場として酪農家の乳用仔牛を優良後継牛に育成するとともに、稲葉山牧野を優良和牛「稲葉メルヘン牛」の供給拠点とする。 | 【具体的な取組】公共育成牧場として市内外3農家から乳牛の預託を受けた。また、和牛の繁殖肥育を行った。 【成果】預託牛(乳牛)年間延3,473頭・市有牛(和牛)年間延106,702頭、肥育牛76頭出荷 | 稲葉メルヘン牛出荷頭数 | 頭/年 | 69 | 80 | 76 | 95.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 15 | 企画政策部 | 観光振興課 | 1 | (3) | ③ | 新規 | ブランド講習会開催事業 | 220 | 220 | 【地方創生加速化交付金事業(H27繰越)】 【地方創生推進交付金事業(H28~H30)】 特産ブランドの販売戦略等について学ぶ講習会を開催し、生産者の「ブランド品」に対する意識高揚を図る。 | 特産品の開発、販路拡大に向けた新潟・長野方面への先進地視研修を行った。現地では、講師の説明や販売所の見学などを実施した。 | 小矢部ブランド認定数 | 件 | 12 | 20 | 14 | 70.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 16 | 民生部 | 社会福祉課 | 1 | (4) | ① | 新規 | 障がい者、生活困窮者の就労促進事業 | 54,670 | 54,670 | 障害者、生活困窮者の多くは、一般就労に際し、就労への準備・訓練等が必要である。また、就労先の開拓が必要であるとともに定着化のために一定期間の就職者及び雇用主への支援を検討する。 | 就労支援の内容は、既存の福祉サービス、ハローワークでの事業等へつなぐことにより実施している。生活困窮者自立支援事業での新規就職者は0名である。また、障害者については、最低賃金が補償され、雇用契約による継続雇用を行う就労継続支援A型の福祉サービスを新たに受けることとなった者は8名となっている。 | 障がい者や生活困窮者の就労促進事業による就職者数 | 人 | 2 | 20 | 8 | 40.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には言えない | | 事業の継続 |
| 17 | 企画政策部 | 企画政策課 | 1 | (4) | ④ | 継続 | おやべ定住支援センター整備・運営事業 | 1,972 | 1,972 | 移住・定住希望者の相談業務、各種定住促進助成金の受付、空き家の活用に向けた空き家バンクの運営など、移住・定住に関する各種相談窓口を運営する。また、とやま呉西圏域での移住サポートステーション事業にも取り組む。 | 定住支援センターが相談機関として市民に認知されるよう、市広報等で周知を行い、各種助成金事業を行った。県と協力し、東京での移住フェアに参加し、本市への移住を呼び掛けた。またPR用のパンフレットやポスター等を作成した。移住体験ツアーを開催した。 | ①相談窓口利用者数(延べ) ②定住支援件数 ③地方情報の発信件数 | 件/年 | ①21 ②27 ③- | ①100 ②30 ③50 | ①54 ②34 ③15 | ①54.0% ②113.3% ③30.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 18 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (1) | ① | H29終了 | サイクリングターミナルリニューアル計画事業 | 94,400 | 94,400 | 【地方創生拠点整備交付金事業(H28繰越)】 35の「メルヘン建築」のうち唯一、公共の宿泊施設としての機能を持つ小矢部市サイクリングターミナルに、少人数で宿泊できる個室を整備し、安価で滞在できる環境・体制を整え、市内経済の活性化に繋げるとともに、自転車等で市内を巡りながら本市の生活環境を体験(移住体験)できる施設・体制を整える。また、入浴室を眺望に優れたエリアに移転整備することにより、休憩利用の増加を狙う。さらに、カフェ等の機能を追加し、メルヘン建築を巡る観光客の休憩施設として、観光交流の拠点機能を向上させる。 | 平成29年度は、利用客増加を目指し、宿泊室、入浴室等の改修工事を実施した。そのため休業期間が発生し、一時的に利用客が落ち込んでいる。平成30年度以降に利用客増に繋がる取組を実施することになる。 【工事期間】H29.8.10~H30.3.23 | ①観光入込客数 ②グッズ等観光商品の販売売上額 ③サイクリングターミナル宿泊利用料金収入 | ①千人/年 ②千円 ③千円 | ①1,221(H27) ②2,400 ③11,551(H27) | ①1,980(H32) ②6,000(H32) ③15,051(H32) | ①1,219 ②4,472 ③9,647 | ①61.6% ②74.5% ③64.1% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の終了 |

H29おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|--------------|------------|--|--|--|--|---|---|----------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 19 | 教育委員会 | 生涯学習文化課 | 2 | (1) | ① | H29 終了 | クロスランドおやべ「ふれあいハウス」リノベーション計画事業 | 43,200 | 43,200 | 【地方創生拠点整備交付金事業 (H28繰越)】 クロスランドおやべの「ふれあいハウス」を季節や天候の影響を受けずに、子供たちが集い、遊べる環境を整備することにより、子供と親や祖父母等の多世代が交流し、くつろげる空間を創出する。また、「恋人の聖地」として認定されているハートアイランドを眺めることができる立地を活かし、夜間に恋人たちがくつろげる環境づくりを行う。本市がおやべルネサンス総合戦略に掲げる「アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立」に取り組む中で、休憩施設としての「クロスカフェ」を演出し、観光交流の拠点機能を向上させる。 | ①観光入込客数 ②グッズ等観光商品の販売売上額 ③クロスランドおやべ「ふれあいハウス」利用料金等収入 | ①千人/年 ②千円 ③千円 | ①1,221 (H27) ②2,400 ③0 (H27) | ①1,980 (H32) ②6,000 (H32) ③1,200 (H32) | ①1,219 ②4,472 ③0 | ①61.6% ②74.5% ③0 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の終了 | |
| 20 | 産業建設部 | 稲葉山牧野 | 2 | (1) | ① | H29 終了 | 稲葉山山頂休憩所リノベーション計画事業 | 32,400 | 30,273 | 【地方創生拠点整備交付金事業 (H28繰越)】 稲葉山山頂休憩所では、民間事業者により、ソフトクリームなどの販売が行われ、観光地としての魅力向上に寄与している。この休憩施設に飲食・休憩施設としての機能を充実させるため、所要の整備を行い、アウトレット等からも人が呼び込めるよう、観光地としての機能を一層高める。 | 森林総合管理センターのリノベーションにより、稲葉山カフェレストランを整備した。併せて汚水処理のための合併処理浄化槽設置工事を行った。 | ①観光入込客数 ②グッズ等観光商品の販売売上額 ③稲葉山山頂休憩所飲食等売上収入 | ①千人/年 ②千円 ③千円 | ①1,221 (H27) ②2,400 ③780 (H27) | ①1,980 (H32) ②6,000 (H32) ③1,600 (H32) | ①1,219 ②4,472 ③1,562 | ①61.6% ②74.5% ③97.6% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の終了 |
| 21 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (1) | ② | 新規 | 小矢部市シティセールス戦略策定事業(イメージソングを活用したプロモーション事業) | 1,500 | 1,500 | 北陸新幹線やアウトレットモールの開業により交流人口の増加が見込まれる中、イメージソングを制作し、発信することにより、本市の魅力をもっと多くの方に周知し、更なる認知度の向上と誘客を図る。 | 【具体的な取り組み】イメージソング「小矢部で見つけましょう」を制作し、市イベント以外にも、市民団体が主催するイベントで活用した。また、あいの風とやま鉄道石動駅での列車到着メロディーや市役所本庁舎の電話保留音として利用するなど、市内外に向けて市の魅力を発信した。 | 小矢部市の認知度(首都圏女性) | % | 28.4 (23.4) | 60.0 (60.0) | (未調査) | — | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 22 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ② | 新規 | メルヘン等を活かした観光推進事業(見て来て体験!メルヘンおやべまるごとブラッシュアップ事業) | 39,430 | 36,926 | 【地方創生推進交付金事業 (H28～H30)】 「35のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの集客誘致を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」とメルモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。 | 「子どもから大人までが喜ぶような、わくわくするような明るく、かわいい街」という「新メルヘン」の定義(コンセプト)にもとづき、新たな観光旅行商品の開発を行った。また、「新メルヘン」の定義にちなんだイベントを開催した。 | ①観光客入込数 ②グッズ等観光商品の販売売上額 ③中心市街地通行者数 | ①千人/年 ②千円 ③人/日 | ①1,121 ②2,400 ③265 | ①1,800 ②5,000 (H30) ③350 | ①1,219 ②4,472 ③297 | ①67.7% ②89.4% ③84.9% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 23 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 2 | (1) | ② | 新規 | まちなかトイレ整備事業(地域・まちなか商業活性化支援事業) | 12,000 | 12,000 | 本市の中心市街地である石動駅前商店街に、魅力的なトイレを整備し、観光客がゆっくり市街地を散策することができることと、地元住民とも語り合える憩いの場を創出することにより、本市の魅力を発信する。 | ①拠点整備に関する活用運営委員会を開催(9回) ②拠点整備に関する実施設計業務の実施 | 中心市街地通行者数 | 人/日 | 265 | 350 | 297 | 84.9% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 24 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ② | 新規 | 日本版DMO活動事業 | 1,857 | 1,857 | 【地方創生加速化交付金事業 (H27繰越)】 【地方創生推進交付金事業 (H29～H30:広域事業)】 広域的に「選ばれ続ける観光地」をめざし、マーケティングや観光戦略を実践していくための事業費の一部を負担する。 | 富山県が主導し、県内15市町村で連携して統一パンフレットの作成や出向宣伝などの観光誘客事業を実施した。 | 観光客入込数 | 千人/年 | 1,121 | 1,800 | 1,219 | 67.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 25 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ③ | 継続 | 観光推進事業(商店街観光客案内) | 3,000 | 3,000 | 商店街の空き店舗を活用し、観光客向けの情報や休憩所を提供し、交流人口の増を図る。 | 空き店舗を活用して週6日間開設し、交流人口の創出に寄与している。しかし、観光客の利用というより、地元民のサロニック的な利用が多数を占めている。 | 商店街観光客案内所利用者数 | 人/年 | 7,146 | 8,000 | 7,875 | 98.4% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|--------------|--------|--------|--------|--------|---------------------------|--------------|------------|--|--|---|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--|------------------|----------------------|-------------------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 26 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (1) | ④ | 継続 | おやベグルメ大使認定事業 | 53 | 50 | ご当地グルメや郷土料理の出店の機会を通じて本市の魅力を外へ広く宣伝し、本市の認知度の向上及びイメージの高揚を図るため、市外のイベントへ出店する意欲ある団体を「おやベグルメ大使」として認定するとともに、大使の活動費の一部を助成する。 | 【具体的な内容】埼玉県での出店1回について助成した。本市のマスコットキャラクターや観光スポットを記載したのぼり旗を掲げるなど、食以外の面でもPRを行う機会となっている。 | おやベグルメ大使イベント出店回数 | 回/年 | 4 | 8 | 1 | 12.5% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効とは言えない | 新たな認定を目指すとともに、予算額の確保も図るべきである。 | 事業の継続 |
| 27 | 企画政策部 | アウトレット・商工立地課 | 2 | (1) | ④ | 新規 | 広域観光案内所運営事業 | 3,400 | 3,400 | 三井アウトレットパーク北陸小矢部内に観光案内所を設け、総合案内人(コンシェルジュ)を配置することにより、市内・県内の観光施設や特産品等に関する情報を提供し、アウトレットモールから観光地やまちなかの商店街への誘導に取り組む。 | 【来場者数】月平均3,522人 【成果】小矢部市内のイベントをPRするとともに、観光施設や店舗を紹介することにより、市内誘客がアウトレット開業前と比較し、0.5%増となった。 | 中心市街地通行者数 | 人/日 | 265 | 350 | 297 | 84.9% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の継続 |
| 28 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ④ | 新規 | Wi-Fi整備事業 | 183 | 183 | 外国人をはじめとした観光客が、無料で使用できるWi-Fiスポットを県の統一規格で整備することにより、観光客自ら情報発信等を行い、観光PRを行う。 | 外国人をはじめとした観光客の利便性向上を図るためにFree-WiFiを整備したことにより、利用料を支出することとなった。 | 観光客入込数 | 千人/年 | 1,121 | 1,800 | 1,219 | 67.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の継続 |
| 29 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ④ | 新規 | 多言語パンフレット発行事業 | 2,000 | 268 | 誘客を行ううえで観光パンフレットは必須であり、小矢部市の史跡・名勝、歴史、伝統文化などを紹介する、魅力的なパンフレットの作成に努める。 | 海外観光誘客キャンペーン事業を実施するうえで、外国語パンフレットを作成した。フランス・台湾・シンガポール出向宣伝において合計3,000部を作成・配付した。 | 観光客入込数 | 千人/年 | 1,121 | 1,800 | 1,219 | 67.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の継続 |
| 30 | 企画政策部 | 観光振興課 | 2 | (1) | ④ | 新規 | 海外プロモーション事業 | 5,000 | 4,450 | 平成28年度に、台湾において、小矢部市としては初めての海外での観光プロモーションを実施し、外国人観光客の誘客に努める。 | フランス・台湾・シンガポールにおいて出向宣伝を実施し、観光DVDの放映、パンフレットの配付などをとおして小矢部市の魅力を全世界に情報発信した。また、シンガポールにおいては旅行会社を訪問し、小矢部市の観光プレゼンテーションをとおして誘客に努めた。 | 外国人観光客宿泊数 | 人/年 | 150 | 600 | 138 | 23.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効とは言えない | 外国人観光客を受け入れるための態勢の充実も図るべきである。 | 事業の継続 |
| 31 | 産業建設部 | 農林課 | 2 | (2) | ① | 新規 | 都市農山漁村交流対策事業 | 900 | 900 | グリーンツーリズムの取組や滞在型の農作業・農産物加工体験など、県外との交流人口の拡大に取り組む。 | 小矢部市南谷地区において定住・移住・交流推進支援事業を行った。とやまの里山暮らし体験を平成29年10月21日及び22日に行った。県内外に案内し、2名の参加があった。また、おやべ元気村づくり塾主催にて都市生協(おおさかパルコープ)を対象としたふるさと体験ツアーを春秋の2回実施して、74名の参加があった(春37名、秋37名)。 | グリーンツーリズム体験者数 | 人/年 | 2 | 50 | 76 | 152.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の継続 |
| 32 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ② | 新規 | 高等教育機関との地域包括連携事業 | 202 | 110 | 平成27年度より本市と北陸大学で包括連携協定を結んだことを機として、双方が有する人的資源の交流と、知的・物的資源の有効活用を図りながら、幅広い分野で協力・協同し、地域社会の発展や定住推進につながる活動を支援する。また、とやま西圏域連携事業として「大学等連携事業」にも取り組む。 | 【具体的な内容】富山大学に「竹資源の活用」について調査委託を行った。とやま西圏域連携事業「大学が取り組む広域的な課題解決に向けた連携の推進事業」において3事業の調査委託を行った。 | 連携課題件数(累計) | 件 | 2 | 10 | 4 | 40.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効とは言えない | | 事業の継続 |
| 33 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ③ | 継続 | 定住促進対策事業(住宅取得助成、賃貸住宅家賃助成) | 55,231 | 55,231 | 本市の定住人口増加を目的として、助成を行う。 (①住宅取得助成、②家賃助成) | 【助成件数】 住宅取得助成 78件 家賃助成新規 72件 家賃助成継続 73件 【成果】新規に150世帯が当助成金を利用した。新規世帯員数合計394名、継続を合わせると述べ538名の定着化に寄与した。また当制度による新規転入者は176名であった。 | ①社会動態数 ②市外からの転入世帯 ③新婚定住世帯 ④転入かつ新婚世帯 ⑤助成制度の転入行動喚起率 | ①人/年 ②~ ③世帯 ④世帯 ⑤% | ①▲53 ②- ③- ④- ⑤- | ①50 ②40 ③15 ④65 ⑤70 | ①▲36 ②43 ③21 ④81 ⑤80 | ①16.5% ②107.5% ③140.0% ④124.6% ⑤114.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の発展 |
| 34 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ③ | 継続 | 三世代同居推進リフォーム助成事業 | 1,500 | 996 | 子供を産み育てやすい環境づくりや高齢者の孤立防止に寄与するとともに、定住人口の増加を図るため、三世代同居を推進し、既存住宅のリフォーム工事等の費用の一部を助成する。 | 【助成件数】10件 【成果】助成対象者へのアンケート調査によれば、三世代同居及び住宅リフォームのきっかけの1つになったとの声があり、定着化に寄与している。 | 三世代同居率 | % | 28.1 (H22国調) | 引き上げる | 23.6 (H27国調) | 84.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には有効であった | | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|----------|-----------------|--------------|------------|---|--|---|----------------------------|-----------------|--------------------|-------------------|---------------------------|------------------|---------------------|---------------------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 35 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ③ | 新規 | 三世同居・近居応援助成事業 | 7,600 | 6,705 | 核家族化や少子高齢化が進展する中で本市の人口の減少を抑制するとともに、祖父母世代の生きがいの向上及び孫世代の情操教育の充実を図るため、三世同居または近居で孫世代の子どもが0歳から2歳までで、保育所等を利用していない保護者に対し、給付金を贈呈する。 | H28年度より子供を産み育てやすい環境づくりと祖父母世代の生きがいがづくり、また地域力維持のため三世同居近居応援助成金制度を創設し、実施した。(152世帯) | 三世同居率 | % | 28.1 (H22国調) | 引き上げる | 23.6 (H27国調) | 84.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 36 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ③ | 新規 | 輝くママ移住支援事業 | 60 | 60 | 【H29新規】 ①転入した高校生以下の子どもを育てるひとり親世帯(母子家庭)の母を6か月以上常用労働者として継続雇用する市内の事業所に対し、奨励金を交付する。 高校生以下の子どもを育てるひとり親世帯(母子家庭)が転入し、②民間賃貸住宅に入居した場合の家賃助成または、③住宅を取得した場合助成を行う。 | 【具体的な内容】ひとり親家庭の母を雇用する事業所への奨励金やひとり親家庭の母への住宅取得助成や家賃助成を行った。家賃助成は1件の申請があった。 | 社会動態数 | 人/年 | ▲53 | 50 | ▲36 | 16.5% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | | 事業の継続 |
| 37 | 企画政策部 | 企画政策課 | 2 | (3) | ④ | 継続 | 空き家バンク活用促進事業 | 618 | 618 | 市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図るため、「小矢部市空き家・空き地情報バンク」を設置している。バンクに登録された物件の賃貸や売買に対して助成を行う。 | 【具体的な内容】登録物件と情報利用者との契約として、売買成約が5件。これにより4世帯の転入につながり、定住促進に寄与している。(助成件数は8件) | ①空き家バンク物件成約数(累計) ②登録件数 | 件 | ①2 ②- | ①30 ②10 | ①20 ②18 | ①66.7 ②180.0 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 38 | 民生部 | 健康福祉課 | 2 | (3) | ⑥ | 新規 | 「生涯活躍のまち」形成支援事業 | 1,800 | 1,800 | 健康寿命の延伸により、生涯活躍する高齢者を支援する役割をもつコーディネーターを配置し、新しい総合事業(介護保険制度改正に伴う事業)に取り組む地域の担い手や事業の発掘及び支援をすることにより、高齢者本来の活動力を発揮できるよう支援する。 | 県の生活支援コーディネーター養成講座受講者 平成29年度 6名 | 「生涯活躍のまち」形成数(累計) | 件 | 二 | 1 | 0 | 0.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | 進捗状況が分かりやすくなるようKPIの見直しを検討してほしい。 | 事業の継続 |
| 39 | 民生部 | 生活協働課 | 3 | (1) | ① | 継続 | 結婚活動支援事業 | 2,141 | 2,101 | 結婚を望む独身者に出会いのきっかけを提供することを目的に事業を行う。 ①「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、登録者の増加を図り、活動を支援する。 ②民間団体等が実施する婚活支援イベントに対して補助を行う。 ③「縁結びさん」の活動との相乗効果を図るため、婚活セミナーやイベント等を外部委託により実施する。 ④縁結びさんの活動について自主性、機動性の確保を図るため、「おやべ縁結びの会」に対し活動補助金を交付する。 ⑤婚活支援事業の業務補助をする「婚活支援員」を配置する。 ⑥結婚に向けた講座の開催を行う。 | 結婚を望む独身者に出会いのきっかけを提供することを目的に事業を行った。 ①「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、新たに4名が登録者した。 ②民間の1団体による婚活支援イベントに36名の参加があり、200千円の補助を行った。 ③委託による8月・9月・11月開催の婚活イベント「おやべ☆アウトレットde婚活☆ナナイロホイール」・「山のダイニングカフェde婚活☆パーティ」・「1ヶ月前のクリスマス☆婚活☆パーティ」を開催した。また、3市(小矢部市・砺波市・南砺市)連携婚活イベント「メルヘンおやべ出逢い旅☆婚活交流会」を開催し、市内をめぐり、フェレンツェクラブで交流会を開催した。計133人の参加があった。 ④「おやべ縁結びの会」に150千円の活動補助金を交付した。毎月第3木曜日に婚活交流サロン、第4木曜日に情報交換会を開催した。 ⑤婚活支援事業の業務補助をする「婚活支援員」を1名配置した。 ⑥男性向け・女性向けの講座を3回開催し、計41人の参加があった。 | ①「縁結びさん」による成婚数(累計) ②出会いイベント参加者数 ③結婚に向けた講座参加者数 | ①件 ②人 ③人 /年 /年 | ①4 ②86 ③3 | ①20 ②200 ③40 | ①8 ②169 ③41 | ①40% ②84.5% ③102.5% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の発展 |
| 40 | 民生部 | 健康福祉課 | 3 | (2) | ① | 継続 | 不妊治療費助成事業 | 10,192 | 10,192 | 不妊治療にかかった費用について、30万円/年度を限度に助成する。 | 平成29年度 申請件数 86件 | 不妊治療費助成件数 | 件/年 | 56 | 60 | 86 | 143.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 41 | 民生部 | 健康福祉課 | 3 | (2) | ① | 継続 | 不育症治療費助成事業 | 600 | 355 | 妊娠しても流産や死産を繰り返す、不育症と診断され、その治療にかかった費用について、30万円/年度を限度に助成する。 | 平成29年度 申請件数 4件 | 不育症治療費助成件数 | 件/年 | 2 | 4 | 4 | 100.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|---------|--------|--------|--------|----------|------------------|--------------|------------|--|--|---------------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|---------------------|--------------------------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 42 | 企画政策部 | 企画政策課 | 3 | (2) | ② | 継続 | 誕生お祝い事業 | 2,900 | 2,635 | 小矢部市の次世代を担う新しい生命の誕生をお祝いするため、お祝い品として市の特産物であるバラ等を贈る。第3子以降の場合は、メルヘン米又は稲葉メルヘン牛と交換できるクーポンもあわせて贈る。 | 【具体的な内容】平成28年度からお祝い品が選択制となり、以下の内容で贈った。 ①赤ちゃんの名前、身長、体重、誕生日入りの写真立て及びセーフティサイン ②メルヘン米又は稲葉メルヘン牛と交換できる特産品引換券1枚 また、共通のお祝い品として祝電とバラがある。第3子以降の場合は変更なく、上記に加えて特産品引換券6枚を贈呈した。 | ①出生数 ②第3子以降対象者数 | 人/年 | ①171 ②22 | ①220 ②30 | ①166 ②28 | ①75.5% ②93.3% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 43 | 民生部 | 健康福祉課 | 3 | (2) | ② | 継続 | おやベママ・パパ講座 | 154 | 128 | 妊娠、出産、育児に対する知識の普及と健康な児の出産への援助、母乳育児の推進を目的とし、1クール3回の講座を実施している。 | 年9回開催 (1クール3回×3クール) 延参加者数 73名 (内訳：妊婦 58名・家族 15名) | ママ・パパ講座受講者数 | 人/年 | 113 | 120 | 73 | 60.8% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 44 | 民生部 | こども課 | 3 | (2) | ③ | 継続 | 子ども家庭支援センター運営事業 | 43,283 | 38,976 | 子育て家庭を対象に、育児不安等についての相談・指導・情報提供等を行うとともに、「育児サロン」の開設により保護者間の交流の場を設け、家庭の子育てを支援する。 | 子育てに関する相談対応、育児講座の実施、保護者同士が交流できる環境の整備、民間支援センターへの助成を行った。 | 育児サロン利用者数(延べ) | 人/年 | 9,506 | 15,000 | 7,008 | 46.7% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | 利用者が減少している。実態を踏まえ改善すべき点があるなら改善してほしい。 | 事業の継続 |
| 45 | 民生部 | こども課 | 3 | (2) | ③ | 継続 | 放課後児童健全育成事業 | 52,716 | 52,525 | 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に居場所を提供して、その健全な育成を図る。 | 利用ニーズは年々高まっているが、おおたに第3放課後児童クラブの設置等により対応は出来ている。 施設や設備の修繕等の保守管理を適宜行い、適切なクラブの運営に努めている。 | 放課後児童クラブ利用児童数 | 人/年 | 192 | 270 | 255 | 94.4% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の発展 |
| 46 | 民生部 | こども課 | 3 | (2) | ④ | 継続 | ひとり親家庭等福祉事業 | 12,531 | 12,478 | ひとり親家庭等の経済的支援を行うとともに母子寡婦福祉会による行事等を通じてふれあいの機会を設け、ひとり親家庭の児童の健やかな成長を図る。 | 児童の父母等が死亡した子を監護する者に対して遺児激励金を2件支給した。義務教育終了前の児童を監護するひとり親家庭等に対して遺児福祉金を130件支給した。母子生活支援施設への入所は1件。 | ひとり親家庭のうち生活保護世帯数 | 件 | 2 | 0 | 1 | 0.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | | 事業の継続 |
| 47 | 教育委員会 | 教育総務課 | 3 | (3) | ① | 継続 | 図書館司書設置事業(小・中学校) | 9,126 | 9,086 | 日々の生活の中で子どもたちが読書を楽しむ心や豊かな人間形成を育むため図書館司書を設置し、読み聞かせや図書指導をする。 | 小学校の図書室に学校図書館司書を各校1名を専任で配置した。図書管理・貸出業務のほか読み聞かせや授業と連携した図書室の利用・活用を促進するよう努めた。 | 学校図書館貸出数(一人当たり) | 冊/年 | 40.6 | 59.3 | 62.9 | 106.1% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 48 | 教育委員会 | 教育総務課 | 3 | (3) | ① | 継続 | 不登校児童生徒等適応指導事業 | 2,655 | 2,515 | 教育相談体制の充実を図るため、児童生徒の臨床心理に関して専門的知識、経験を有するスクールカウンセラーの配置などを行う。 | 適応指導教室通級者数 小学生2人 通級生徒に対して、相談及び学習指導を実施した。 | 不登校児童生徒適応指導教室利用率 | % | 26.3 | 50 | 18.2 | 36.4% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | | 事業の継続 |
| 49 | 教育委員会 | 生涯学習文化課 | 3 | (3) | ② | 継続 | 地域おやべっ子教室推進事業 | 6,500 | 6,489 | 子どもたちを対象に、平日の放課後や土曜日に、小学校や公民館において、地域の多様な技能を持つ方々の参画を得ながら、スポーツ、文化活動、体験活動、ふるさと学習等を実施する。 | 地区公民館、小学校、文化スポーツセンター等を会場として、13教室(11団体に委託)を延べ580回開催した。 | 地域おやべっ子教室推進事業参加児童数(延べ) | 人/年 | 6,119 | 7,500 | 8,754 | 116.7% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 50 | 教育委員会 | 教育総務課 | 3 | (3) | ③ | 継続 | 情報教育環境整備事業 | 42,737 | 40,042 | 小中学校におけるICT機器の整備及び保守管理業務を行うことで、児童・生徒・教職員の教育環境の向上を目指すとともに、教職員の公務環境の整備を行うことで、業務効率の向上を図り、教職員の多忙化解消による「子どもと向き合う時間」を確保する。 | 小学校教育用パソコン(195台)の更新及びサーバの統合を図った。 | PC配置数/児童生徒数 | % | 16.4 | 18.5 | 20.4 | 110.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|----------|------------|--------------|------------|--|---|---------------------------------|-----|----------|----------|--------|---------|------------------|-------------------|--------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 51 | 民生部 | 生活協働課 | 3 | (4) | ② | 継続 | 男女共同参画推進事業 | 3,961 | 3,702 | 小矢部市男女共同参画推進員の活動支援や、企業や職能団体などにおける意思決定の場への女性の参画や企画・渉外部門などへの積極的な女性登用について働きかける。 | ○小矢部市男女共同参画推進員の活動支援として、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に活動している小矢部市男女共同参画推進員36名に対し支援を行い、謝礼として357千円支給した。 ○男女共同参画推進員による出前講座において、女性の参画や登用について働きかけを行った。 ○市が設置する審議会などへ広く女性の登用を積極的に促進し、審議会などの女性委員選出の割合が高まった。 ○施策を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画プラン(第2次)改定版を策定した。 | 審議会等における女性委員の割合 | % | 26.9 | 40 | 28.7 | 71.8% | 地方創生に非常に効果的であった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 52 | 企画政策部 | 企画政策課 | 3 | (4) | ③ | 新規 | 孫とおでかけ支援事業 | 1,260 | 1,218 | 祖父母と孫(ひ孫)と一緒に、小矢部市、富山市、砺波市、南砺市または射水市の指定する対象施設に来館した場合に利用料を無料とすることにより、高齢者等の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深め、地域の文化や歴史、科学への関心を幅広い年齢層に広めることを目的として実施する。(H29から高岡市、氷見市が追加。) | 【利用者数】5,382人(祖父母、孫全て合算したべ人数。月平均利用者数448名超。) 【成果】対象施設であるクロスランドタワーとダ・ビンチテクノミュージアムの利用者数34,413人のうち、約15.6%の5,382人が、当事業による利用者である。高齢者の外出促進と世代間交流に一定の効果をもたらすとともに、当該施設の利用促進にも寄与している。加えて、祖父母・孫含めた来場者全体のうち、76.5%が市外居住者の利用であることから(祖父母の70.3%、孫の81.8%が市外居住者)、市外から本市への交流人口の創出にも寄与している。 | 孫とおでかけ支援事業市内対象施設利用者数 | 人/年 | 二 | 6,240 | 5,382 | 86.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 53 | 総務部 | 総務課 | 4 | (1) | ① | 継続 | 備蓄整備事業 | 5,244 | 5,244 | 災害が起きた場合に備え、食料・資機材などの備蓄品の整備を行う。 | 【具体的な内容】災害備蓄用食糧(アルファ化五目ごはん1,000食、おかゆ200食、ミキサー粥1,800食、ビスケット4,800食、飲料水6,600本、粉ミルク16缶、真空パック毛布280枚、マジックパネル5セット、クイックパーテーション(2人用テント)100個、トイレ用テント65個、簡易トイレ用便座70台、簡易トイレ8,100枚 【成果】29年度末備蓄率98.7%に達した。 | 備蓄率 | % | 84.7 | 100.0 | 98.7 | 98.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 54 | 総務部 | 総務課 | 4 | (1) | ② | 継続 | 防災士養成事業 | 366 | 108 | 地域防災の担い手となる防災士を育成し、地域防災力の向上を図る。 | 【具体的な内容】新たに6名が防災士の資格を取得した。 【成果】市全体では69名が防災士として登録された。 | 防災士の養成数 | 人 | 53 | 73 | 69 | 94.5% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 55 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (1) | ③ | 継続 | 防犯カメラ設置事業 | 600 | 114 | 安全なまちづくりのために、自治会等が地域の犯罪を抑制する目的で防犯カメラ及び専用柱を設置することに対し、補助金を交付する。 | 市が補助金制度を開始したことの周知に努め、3団体が設置を検討し、うち宮島地区防犯組合が防犯カメラを設置した。その他市の防犯カメラによる情報提供は4件。 | 防犯カメラ設置数 | 台 | 15 | 31 | 23 | 74.2% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 56 | 民生部 | 市民課 | 4 | (2) | ① | 継続 | 特定健康診査等事業 | 30,058 | 25,316 | 特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目して生活習慣病といわれる糖尿病や高血圧症、脂質異常症等のリスクの有無を検査し、リスクがある方の生活習慣をより望ましいものに変えていくことを目的とした健康診査を行う。 | 国民健康保険加入者の内40歳～74歳までの方を対象に受診券を送付した。実施期間は6月15日～9月30日まで行い、対象者4,692人の内、2,445人が受診した。受診率を高める取り組みとして前年度未受診者(40歳～69歳)と、今年度40歳到達者に日中と夜間に電話による受診勧奨及びハガキ(40歳～64歳)による受診勧奨を行った。また、貧血検査を市独自の取り組みとして行っている。 | 特定健康診査受診率(国保加入者) | % | 53(H25) | 65 | 52.1 | 80.2% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |

H29おやべルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) |
|---------|-------|---------|--------|--------|--------|----------|-----------------------|--------------|------------|---|---|---------------------------------|------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|--------------------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | |
| 57 | 民生部 | 健康福祉課 | 4 | (2) | ② | 新規 | おやべ介護予防・生活支援サービス事業 | 20,819 | 20,615 | NPO、民間事業者等による掃除・洗濯等の生活支援サービスや、コミュニティサロン、住民主体の運動・交流の場の創出など、介護保険制度を活用し、地域課題の解決に資する事業を育成・実施する。 | 住民主体の運動・交流の場 2か所 | 住民主体の支援団体数 | 団体/年 | 18 (H25) | 30 | 20 | 66.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 58 | 民生部 | 健康福祉課 | 4 | (2) | ③ | 継続 | 小矢部市公衆浴場等利用促進事業 | 13,653 | 13,653 | 外出機会を創出し健康増進を図り、明るく豊かな長寿社会を築くため市内在住の高齢者に老人福祉センター及び公衆浴場の利用券を配布する。 | ①公衆浴場利用券利用者数 延25,492人 ②寿永荘利用券利用者数 延5,169人 | ①公衆浴場利用券利用率 ②寿永荘利用券利用率 | % | ①42.9 ②24.4 | ①50.0 ②28.0 | ①44.8% ②25.2% | ①89.6% ②90.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 59 | 民生部 | 健康福祉課 | 4 | (2) | ④ | 新規 | 在宅医療・介護連携支援拠点設置事業 | 3,432 | 2,779 | 疾病を抱えていても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活が継続できるよう、在宅医療・介護の連携を支援する拠点を設置する。 | 在宅医療・介護連携推進事業の委託 1か所(小矢部市医師会) | 在宅医療・介護連携支援拠点設置数 | か所 | 二 | 1 | 1 | 100.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 60 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (3) | ① | 継続 | 市営バス運行事業 | 46,001 | 41,172 | 主に小矢部市民の移動手段として、市内全域において5路線のメルバス、6路線のデマンド型乗合タクシーを運行する。 | 高齢者の運賃無料化を実施したことが、利用者増に繋がった。一方で、乗合タクシー城山線、まちなか線の試験運行を実施したが、利用状況が極めて低調であったため29年度中で試験運行を終了とした。 | メルバス+乗合タクシー1日あたりの利用人数(年平均) | 人/日 | 125 | 127 | 148 | 116.5% | 地方創生に非常に効果的であった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の発展 |
| 61 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (4) | ① | 継続 | コミュニティ助成事業 | 4,900 | 4,900 | 地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため、コミュニティ活動に必要な設備等の整備および集会施設(コミュニティセンター・自治会集会所等)の建設整備に対する助成を行う。 | 矢水町2区町内会、亀堀町内会の2団体に対して、コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対する助成を行った。 | コミュニティ助成件数 | 件/年 | 3 | 3 | 2 | 66.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 62 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (4) | ② | 継続 | おやべ型1%まちづくり事業 | 13,293 | 11,627 | 個人市民税の1パーセントに相当する額を財源とし、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として、市民自らが考え、みんなでいっしょに行動する事業に対し、補助金を交付して活動を支援する。 | 合計83(うち新規9件、継続74)の事業に対し補助金11,527千円を交付し、延べ38,058人の事業参加があった。実施された事業の内訳は、イベント・市のPR等が23事業、環境整備が40事業、防犯防火等が11事業、福祉活動等が9事業であった。 | 1%事業参加者数(延べ) | 人/年 | 36,558 | 39,000 | 38,058 | 97.6% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 63 | 教育委員会 | 生涯学習文化課 | 4 | (5) | ① | 追加 | アートハウスおやべ運営事業 | 18,303 | 18,296 | アートハウスおやべを活用しながら、子どもを対象としたワークショップや展示会など様々な事業を展開する。 | 自主事業としてアートハウス夢フェスタなど8事業を実施し、個展・グループ展については24件が開催された。ワークショップは、夏と冬及び夢フェスタの開催事を実施した。 | アートハウスおやべ利用者数(延べ) | 人/年 | 二 | 40,000 | 23,515 | 58.8% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない | 事業の継続 |
| 64 | 企画政策部 | 観光振興課 | 4 | (5) | ② | 継続 | おやべ祭り等補助事業 | 11,625 | 11,625 | 本市の賑わい創出のため、おやべ祭りや三大祭の事業主体へ助成を行う。 | 祭り・イベントを実施する5団体へ補助を行った。 | 観光客入込数 | 千人 | 1,121 | 1,800 | 1,219 | 67.7% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 65 | 企画政策部 | 観光振興課 | 4 | (5) | ② | 継続 | 三大祭保存伝承促進事業 | 100 | 70 | 小矢部三大祭である、石動曳山祭・おやべの獅子舞祭・津沢夜高あんどん祭の保存・伝承について検討する。 | 三大祭の保存・伝承について委員会を開催し、各祭りの課題等について情報交換を行った。 | 三大祭保存団体数 | 団体 | 116 | 現状維持 | 116 | 現状維持 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |
| 66 | 教育委員会 | スポーツ課 | 4 | (5) | ③ | 継続 | 全国的スポーツ大会及びスポーツイベント開催 | 2,250 | 2,250 | スポーツ少年団から一般の競技スポーツの全国的大会やスポーツイベントの開催誘致を行う。 | 第39回北信越高等学校ホッケー選手権大会を開催した。第4回おやべ4時間リレーランなど、各種大会を開催した。 | スポーツ施設利用人数 | 人/年 | 193,564 | 240,000 | 195,758 | 81.6% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 事業の継続 |

H29おやベルネサンス総合戦略事業 点検・評価一覧表

| 報告事業No. | 部局名 | 担当課名 | 基本目標CD | 主要施策CD | 施策内容CD | 総合戦略事業区分 | 事業名 | H29最終予算額(千円) | H29決算額(千円) | 事業概要 | H29事業実績(詳細、具体的な取組など) | KPI (下線は総合戦略及び地域再生計画に掲げたKPI) | | | | | H29事業効果 | 外部評価 【市民会議評価】 | | 今後の方針 (H31年度以降) | |
|---------|-------|-----------|--------|--------|--------|----------|-------------------------------|--------------|------------|--|---|---------------------------------|----------------|----------|----------|---------|---------|------------------|-------------------|--------------------------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 指標名 | 単位 | 現状値(H26) | 目標値(H31) | H29実績値 | | H29達成度 | 事業の評価 | | 意見 |
| 67 | 教育委員会 | スポーツ課 | 4 | (5) | ③ | 継続 | 競技力向上対策事業 | 5,773 | 5,487 | 中学生・高校生選手の育成・強化を図るために、本事業による指導者の招聘等により、将来オリンピック等の各種大会に出場できるよう競技力の向上を目指す。 | 中学生・高校生選手の育成・強化を図るために、本事業による指導者の招聘等により、将来オリンピック等の各種大会に出場できるよう競技力向上につながる支援を行った。2020年東京オリンピック開催を契機として、本市出身者のオリンピック出場を目指すため、専門職員を配置することにより選手の強化・育成を図ったため、全国大会・国際大会への出場者が大幅に増加した。 | オリンピックの数(累計) | 人 | 4 | 6 | 5 | 83.3% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 68 | 教育委員会 | スポーツ課 | 4 | (5) | ③ | 継続 | ホッケークラブチーム育成支援事業 | 4,000 | 4,000 | 市内ホッケー成年クラブチームが出場する日本リーグや社会人大会等への活動補助を行う。 | 市内ホッケー成年クラブチームが出場する日本リーグや社会人大会等への活動補助を行った。 | スポーツ施設利用人数 | 人/年 | 193,564 | 240,000 | 195,758 | 81.6% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 69 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (5) | ④ | 継続 | ごみ減量化及び再生利用推進事業 | 62,276 | 62,123 | ごみの分別収集や紙類の資源回収など、市民・市民団体・事業者・市が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を進め、ごみとして焼却・埋立処分される量を極力減らし、資源として循環する社会の形成を目指す。 | ごみの分別収集や古紙の資源回収など、市民・市民団体・事業者・市が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を進め、ごみとして焼却・埋立処分される量の減少について努力し、資源として循環する社会の形成を図った。また、剪定枝、廃プラスチックの資源化を推進した。 | リサイクル率(再生化ごみ量/ごみ排出量) | % | 18.6 | 引き上げる | 14.8 | 79.6% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 70 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (5) | ④ | 継続 | 地球環境保全対策事業 | 1,545 | 1,100 | 太陽光発電システムの家庭及び事業所への導入や住宅の屋根または窓ガラスに遮熱性塗装等を施工した場合に補助することで、省資源・省エネルギー化や新エネルギーの導入促進を図る。 | 太陽光発電システムの家庭及び事業所への導入に対し、補助することで省資源・省エネルギーを普及させ、エネルギー産業の育成を図った。 | 住宅用太陽光発電システム設置数 | 件/年 | 34 | 39 | 22 | 56.4% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には言えない | | 事業の継続 |
| 71 | 民生部 | 社会福祉課 | 4 | (6) | ② | 継続 | 地域総合福祉推進事業 | 4,220 | 4,220 | 家庭・地域社会・施設等が一体となった地域総合福祉を目指して、住民自ら福祉ニーズを把握し、その解決に取り組む活動。福祉コミュニティづくりの推進と、活動に係る相談や連絡調整を行うケアネットセンターの運営等に対し、補助を行う。 | 地域で支援を必要とする高齢者や障害者に対して民生委員児童委員、地域福祉推進員等が見守り活動や日常生活の支援を行い、地域において生活している者が自ら地域福祉の中心的役割を担っている。 | ケアネット活動延べ日数 | 日/年 | 10,671 | 12,200 | 19,179 | 157.2% | 地方創生に非常に効果的であった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 72 | 企画政策部 | 企画政策課 | 4 | (7) | ① | 新規 | とやま呉西圏域都市圏ビジョン推進事業 | 263 | 219 | 県西部6市で形成する呉西圏域ビジョン懇談会の実施やビジョンの改訂作業を行いながら、呉西圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的な取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。 | 平成28年10月に県西部6市で連携中枢都市圏形成にかかる連携協約を締結し、圏域の発展に向けた連携32事業の実施を始めた。H29年度は新規事業の検討を行ったが、圏域での検討の結果新規事業となったものはなかった。 | 連携中枢都市圏構成市間の新規連携事業数 | 事業(累計) | 2 | 2 | 32 | 1600.0% | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |
| 73 | 民生部 | 生活協働課 | 4 | (7) | ② | 継続 | 地球環境保全対策事業(ペレットストーブ設置推進事業補助金) | 250 | 200 | 地球温暖化対策を推進するとともに木材利用の拡大による関連事業の活性化に寄与するため、ペレットストーブ設置に対し補助を行う。 | 木質バイオマス資源を活用した木質ペレットを燃料とする機器を購入した場合に補助金を交付し、普及促進を図った。 | ペレットストーブ設置数 | 件/年 | 2 | 10 | 4 | 40.0% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成には言えない | | 事業の継続 |
| 74 | 総務部 | 財政課 | 4 | (8) | ① | 継続 | 行財政改革の推進 | 0 | - | プライマリーバランスとは、国や地方自治体の財政状態を示す指標の一つで、市債発行額を除いた収入と、公債費を除いた歳出の差を表すものである。H25実績は、11億89,551千円の赤字であった。今後は、国の目標を念頭におき、早期改善を図るようH26.12に策定した「新小矢部市行財政改革大綱」の着実な実施に努め、効率的かつ効果的な行財政運営を推進するとともに、市民サービスの質的向上を図る。 | 平成29年度の基礎的財政収支(プライマリーバランス)は▲396,562千円で目標値である黒字化を達成することができなかった。これは、石動駅周辺整備事業や市民体育館耐震補強事業などの実施に伴い、歳出において投資的経費が増加したことにより、地方債発行額が増となったことによるものである。 | プライマリーバランス | 億円 | ▲4.44 | 黒字化 | ▲3.97 | 10.6% | 地方創生に対して効果がなかった | 総合戦略のKPI達成には言えない | 黒字化が達成できるような行政運営に努めてほしい。 | 事業の継続 |
| 75 | 総務部 | 行政マネジメント課 | 4 | (8) | ② | 新規 | 公共施設等総合管理計画の推進 | 2,000 | 1,944 | 総務省からの策定要請により管理計画を策定した(H28年度)。今後は、公共施設等総合管理計画の推進等を図るため、公共施設マネジメント支援システムを導入する。 | 公共施設再編計画(素案)を取りまとめた。計画期間は、平成28年度から平成57年度までの30年間の計画とし、施設類型ごとの再編の方向性や実施時期に関する基本的な方針を明示している。なお、この計画は、平成30年6月に策定完了しており、市ホームページで公表し、市民へ周知している。 | 人口1人あたり公共施設延床面積 | m ² | 5.09 | 引き下げる | 5.39 | 94.1% | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | | 事業の継続 |